定福寺〇〇講堂建設勧進帳

2023年度完成予定

新たに来寺される不動三尊

真言宗智山派
粟生山　歓喜院　定福寺

吉野川の支流南小川沿いに定福寺はあります。真言宗智山派の寺院で、かつての豊永郷の中心地にあり2023年には開創1300年を迎えます。

風雨により破損した本堂を山内家9代目豊敷公が、1724年に改修したとあります。江戸時代まで定福寺には12の堂宇がありました。観音堂（現持仏堂）から仁王門までは回廊があり、仁王門の下には教院がありました。豊永郷を治めた有力な人々の菩提寺だったことが伺えます。定福寺の飛び地境内として豊永郷には36か所の堂があり、梶が森には定福寺奥の院、御影堂があります。

定福寺〇〇講堂建設の経緯

講堂とは、仏教寺院の建造物の名称で、僧侶が学ぶ場であり仏教の考え方や教えを広く伝えるお堂のことです。定福寺にはかつて「教院」というお堂があり、経典や書物があり学ぶ場所もあったようです。この「教院」は明治の廃仏毀釈の際の祝融のため現存いたしません。定福寺の先師や残された史資料より、お寺は「祈る場であり、学ぶ場であり、集う場である」ことがわかります。

今回、定福寺〇〇講堂を建設する場所には60年前に建築されたユースホステルがあります。老朽化で解体を待つばかりでしたが、東京より江戸時代の仏さまが安置されることや山間地域の文化保存伝承のための施設として建立されることが決定しました。

祈りの場（２階）

定福寺〇〇講堂の2階には、東京よりお越しになられる仏さまが3躰安置されます。またその他定福寺関連の仏さまが安置されます。ここでは、仏教関連の講習会や写経・写仏、瞑想、ヨガ、落語など仏教関連の行事が執り行われます。
（ユニバーサルデザインで安心です）

学ぶ場（1階）

1階は多目的に利用できる場所です。1階の壁は、全面本棚となります。子供達にもたのしめるように、絵本なども多く収蔵する予定です。お寺への参拝者や豊永郷民俗資料館の利用者や研修場所などに利用されます。また台所では郷土料理の講習会も行われる予定です。（ユニバーサルデザインで安心です）

集う場所（境内）

境内の宝物殿、土佐豊永万葉植物園、今回建設される定福寺〇〇講堂はどなたでも利用できる場所となります。境内に隣接する豊永郷民俗資料館の拝観もできます。定福寺第三駐車場は、大型バスや法要などの際の駐車スペースですが、駐車場として使用しない時には、多くの方に体を動かす場としても提供をいたしております。

定福寺に新たに安置される
不動明王三尊

不動明王護持の経緯

不動三尊は、不動明王とその眷属の制多迦童子・矜羯羅童子を合わせた三尊のことです。残された縁起には、「新堀の地（現在の港区芝周辺）に成就院を開基し、明治6年1月6日成田山新勝寺より遷座された」とあります。成田山新勝寺では、江戸時代に成田から江戸に御本尊が運ばれ、出開帳が行われていました。不動明王さまを参拝することで、多くの江戸の人々は御利益を頂いていました。出開帳は、お堂の建立、お寺の再建や興隆が目的でした。最初に江戸の深川に安置されました。多くの方々の参拝がありましたが、成田山から江戸まで頻繁に御本尊をお運びすることは大変な作業でありました。江戸末期には御分身として、成田山新勝寺で開眼された不動明王さまが各所に安置されることになりましたが、それらの仏さまは明治時代の廃仏毀釈や第二次世界大戦の東京大空襲により所在は不明となっています。

定福寺不動三尊は、縁起にもある芝（東京タワー周辺）の成就院に安置されていました。第二次世界大戦の影響により、僧侶は強制疎開をしなければなりませんでした。不動堂守護者の小山真随僧侶は、成就院の近くの稲垣梅吉氏の厚意により御本尊を同家の倉庫に安置することとなりました。戦後、疎開から引き揚げてくると成就院は焼失していましたが不動三尊は災禍を免れていました。小山真随僧侶は、御本尊が無事であることを聞き、再び新堀の地に不動堂の再建を試みた様子がうかがえますが願いはかなわず、僧侶宅に安置することとなりました。

御尊像は、子孫に引き継がれ、小田原の自宅脇に不動堂を建立し、御子息小山栄愼氏によって大事に護られてきました。長年個人宅で安置されてきた不動三尊を修繕してあげたいと栄愼氏長女の小山千恵子氏の願いで、吉田安成仏師に修復の依頼をされました。併せてかつてのように多くの方を守護し、広く参拝されることを願っていることを伝聞されていました。吉田仏師御夫妻と定福寺住職釣井龍秀と長老の次女高田明との御縁があり、2016年にお会いした際、定福寺で安置し、小山様の願いである広く多くの方を守護し参拝されるようになればありがたいとのお申し出を頂きました。

大変大きなお像のため、老朽化した檀信徒会館を再建し定福寺講堂を建立することとなりました。

定福寺　講堂建設

＜定福寺ホームページ＞　＜定福寺ユーチューブ＞

定福寺には本堂・持仏堂・宝物殿、境内と隣接して豊永郷民俗資料館があり、第三駐車場は運動施設としても使用しています。江戸時代までは、教院（経蔵と学ぶ場所）・剣道場など12の堂宇があった記録があります。今回、お越し頂く不動明王座像は約2m、脇仏の制多迦童子・矜羯羅童子も約1mの尊像です。定福寺の本尊様よりも大きく、現在の本堂や持仏堂では安置できませんでした。定福寺境内には60年前に建設され若者たちが宿泊していたユースホステルがあり、閉館後は定福寺檀信徒会館として使用されてきた建造物がありました。定福寺檀信徒会館は、現在の建築法や防火法、耐震などの諸条件に合致しないだけではなく、配電設備、通路や御手洗いなどが老朽化し使用できなくなっています。定福寺は2023年に1300年を迎えます。この好機に講堂として再建することとなりました。完成後は、図書スペース、地域料理伝承場、研修スペース、写経や瞑想などを行う場所ができます。多くの方にご自由に利用いただける場にもなります。**お寺は、祈る場であり、学ぶ場であり、集う場であることが先師たちの記録からわかります。**ご協力をよろしくお願いいたします。

御寄付のお願い

定福寺〇〇講堂建設にともなう御寄付をお願いいたしております。

10万円以上御寄付頂いた方は、

木札を講堂に掲示させていただきます。

木札

H:360㎜
W:60㎜

50万円以上（個人）・100万円以上（企業・法人）

を御寄付頂いた方は、石碑を建立いたします。

寄付口座

・四国銀行　大田口代理店
普通9618339
宗教法人 定福寺（しゅうきょうほうじん　じょうふくじ）
・高知銀行　豊永支店
普通3009475
宗教法人 定福寺（しゅうきょうほうじん　じょうふくじ）
・ゆうちょ銀行
口座記号01620-7 口座番号12426
宗教法人 粟生山定福寺（しゅうきょうほうじん　あおうざんじょうふくじ）

〒789-0167　高知県長岡郡大豊町粟生158
電話　0887-74-0301

御寄進はこちらからお願いいたします

定福寺は、多くの方々の御縁により廃仏毀釈を免れ1300年間守られてきました。定福寺〇〇講堂建設後には、定福寺の祈りの姿、学び精進する姿、多くの方々にそれらを伝える姿をより一層お見せすることができ、ご参拝頂けることと思います。

大変な時ではございますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

定福寺　住職　釣井龍秀